

授業科目名： 英語科指導法Ⅳ	教員の免許状取得のための 必修科目（中学校英語） 選択科目（高等学校英語）	単位数： 2単位	担当教員名： 大和洋子 小泉仁 担当形態： クラス分け・単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 英語）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
「学位授与の方針」との関係			
DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標			
英語の音声、文字、語彙、表現、文法に関する教材・ICT活用と指導方法について実践的な知識と技能を身に付けるとともに、異文化理解に関する教材、指導方法を身に付ける。			
授業の概要			
(1) 英語科指導法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの内容を踏まえて、主に英語の音声、文字、語彙、表現、文法、異文化理解について、各自の実践力を高めるとともに、具体的な教材活用、指導方法を学ぶ。 (2) スクーリングにおける演習を通して、各自の実践力、教材・ICT活用と指導方法について自己評価・相互評価を行う。			
授業計画			
第1回：英語科指導法Ⅳの学修ポイント 第2回：「英語の音声」を軸とした実践力の向上 第3回：「文字」を軸とした実践力の向上 第4回：「語彙、表現」を軸とした実践力の向上 第5回：「文法」を軸とした実践力の向上 第6回：「英語の音声」の教材・ICT活用、指導 第7回：「文字」の教材・ICT活用、指導 第8回：「語彙、表現」の教材・ICT活用、指導 第9回：「文法」の教材・ICT活用、指導 第10回：「英語の音声」指導演習 第11回：「文字」指導演習 第12回：「語彙、表現」指導演習 第13回：「文法」指導演習 第14回：指導演習の振り返り 第15回：「異文化理解」の教材、指導 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
スクーリングでは第1回～第15回の内容を総合的に扱う。			
テキスト			
小田寛人、江藤秀一 編（2018）「授業力アップのための英語授業実践アイデア集」開拓社 978-4-7589-1354-6			
参考書・参考資料等			
新学習指導要領にもとづく英語科教育法 第3版（大修館書店）（英語科教育法Ⅱテキスト） プロ教師に学ぶ真のアクティブ・ラーニングー“脳”動的な英語学習のすすめ（開隆堂）（英語科教育法Ⅲテキスト） 神保尚武監修（2020）『「教師の自己評価」で英語授業は変わる』（大修館書店） 『言語教師のポートフォリオ【英語教職課程編】』			
学生に対する評価			
スクーリング評価・提出物を含む（40%）、レポート評価（30%）、科目修得試験（30%）			